

(4) 参加者と知事による自由な意見交換

司会： 「れいほくスケルトンの性能向上及び販売促進」で取り組みをされてる「嶺北材ブランド化協議会」さんご発言をお願いします。

Jさん： 「嶺北材ブランド化協議会」です。

この間の韓国のミッションで、韓国からモデルハウスを一緒にやらないかと持ちかけがありました。どういう対応をしたらいいのかはこれからみんなと相談し、ご支援を賜らないといけないこともあろうかと思いますが、地域としても前向きに考えていきたいと思っています。

さらに、もっと売り出していくために必要な、性能的な面を持たしていかなければならない所がたくさんあります。そういうまだまだ成長途上のスケルトンですので、これから様々な試験を繰り返しながら、性能を担保していくことをやっていかなければならないと思いますので、ぜひ研究機関共々、ご支援を賜りたいと思います。お陰様で地場産業大賞をいただいたことで、県内での知名度が上がり、スケルトンの仕組みを使った注文が増えており、一つの商品を田舎が持つことは大きな意味があるとつくづく感じています。今後ともよろしくご指導いただければと思います。

知事： 韓国に港と港の会議、INAPというものがあります。青島、フィリピン、インドネシアなど各国の港関係者が集まる会議で、港の関係者同士の会議だけで終わらせたらもったいないと思い、昨年から経済ミッションを一緒に創成して、一緒に韓国に行く活動をさせていただいています。そこで外国向けの営業をやりますが、今年は木工関係の方が多かったです。それでJさんをはじめ、県内各地の木の関係の皆様にご参加を賜ったわけですが、非常に好評だったそうで、素晴らしいと思います。モデルハウスを一緒にやらないかというお話はすごいですね。冒頭申し上げましたが、輸出になると、例えばLC（[letter of credit] 信用状＝取引先の振り出した手形に対して、銀行が一定の責任を負う旨を記載した書面。一般には、輸入商の依頼による商業信用状）を取らないといけないなどいろいろな事があったりするし、また相手が信用できるかということも出てくるとは思います。県としてもバックアップしていくべき分野だと思っていますので、地産外商公社、さらに貿易協会で作っている仕組みも含めて努力していきたいと思っています。世界で有名になりますように、本当に頑張っていきたいと思います。